

## ゲームやテレビ等に費やす時間と影響(活用例 その1) 指導のためのプログラム

1. 指導の機会

保護者面談 —基本的な生活習慣の改善に向けて—

2. 対象

全校児童及び保護者

3. ねらい

ゲーム・テレビ等の視聴時間やその及ぼす影響について保護者への啓発を図る。

(1) 題材 ゲーム・テレビ等に費やす時間と影響

(2) 展開

時配	指導の流れ	指導上の留意点
夏休み前	1 保護者面談の事前準備として、「ゲームやテレビ等についてのアンケート」をとる。	○保護者宛て協力依頼文書（別紙文書例）とともに、アンケート（別紙アンケート）を実施する。 ○保護者のアンケートへの記名は、学校の実情に応じて判断する。
夏休み前	2 児童の実態把握をする。	○生活アンケートの項目に、「テレビやゲームを1日どれくらい楽しめますか。(平日)(休日)」を入れて、児童のテレビ視聴等の実態把握をするとともに、保護者面談の資料にする。
夏休み 個人面談	3 児童の実態と保護者アンケートを照合する。	○児童の実態と保護者アンケートを照合し、保護者が自分の子どもの生活の様子を的確に把握できているか確認する。 ○特に、生活リズムがつかめない児童については、児童の実態との相違点や家庭生活の留意点などについてともに考える。
冬休みや 年度末	4 経過の確認をする。	○冬休み前や年度末に、保護者アンケートや児童生活アンケートを再度取り、その後の経過をみる。

**（保護者宛て依頼文書例）**

保護者様

市原市立〇〇小学校

校長 〇〇 〇〇

**ゲーム・テレビ等の視聴についてのアンケートのお願い**

盛夏の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に、ご理解とご協力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

さて、かねてより、子どもたちのゲームやテレビ等に費やす時間について、また、長時間の視聴が子どもたちの心身に与える影響について、ご心配を感じているというご意見やご感想を保護者の皆様からも聞かれるところです。また、あと1週間余りで夏休みに入りますので、この機会にゲームやテレビ等の視聴時間やその影響について、保護者の皆様とともに考え、子どもたちの心身の健全な成長や学力の向上にむけた取り組みを行おうと考えます。

そこで、別紙「ゲーム・テレビ等に費やす時間と影響について考えましょう」のプリントをご覧ください、ゲームやテレビの視聴についてのアンケートにお答えくださいますよう、ご協力をお願いいたします。アンケート結果については、この目的以外に使用することはありませんので、何卒ご理解いただきたいと思います。

○アンケートには、保護者の方がお答えください。

○お子様のゲームやテレビの視聴等でご心配なことがあれば、個人面談の際に担任までご相談ください。

## \*家庭教育支援資料「5. ゲーム・テレビ等に費やす時間と影響」

**ゲーム・テレビ等に費やす時間と影響について考えましょう**

テレビやゲームを長時間すると「少しのことでイライラする」「怒ったり乱暴したりする」「人間関係をうまく作れない」「他人を思いやる心が育たない」など、子どもの健全な成長に影響するのではないかとということが心配されています。

**ゲームやテレビの悪い影響を受けないためには、どうしたらいいの？**（「日本小児科医会の提言」より）

- (1) すべてのメディアへ接触する時間を制限することが重要です。就学前は1日1時間、大人でも1日2時間までが安全と考えられます。
- (2) テレビゲームの時間は、1日30分までが安全と考えます。中毒防止のため、ゲームから離れる日「ノー・ゲーム・デー」を設けることが重要です。

**ゲームやテレビの視聴についてチェックしてみましょう。**

No.	項目		
1	お子さんが一日にどのくらいの時間ゲームをしているか知っていますか。	はい	いいえ
2	お子さんが一日にどのくらいの時間テレビを見ているか知っていますか。	はい	いいえ

\*質問項目は1～10まで例示してあります。